

HMK
HAMAKYOREX



2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月 16日

株式会社ハマキョウレックス

東京証券取引所 市場第一部:9037



- I. 会社概要
- II. 2012年3月期第2四半期 概況
- III. 2012年3月期 下期に向けて
- IV. 中期経営計画
- V. 2012年3月期第2四半期 決算実績
- VI. 近物レックスの現況と今後の戦略
- VII. 参考情報

I. 会社概要

I-1. 経営理念

「物」に携わる者として、

「人と接するときは、**心**を込めて」

「仕事をするときは、**初心**を忘れず前向きに」

「物を扱うときは、**心**を込めて丁寧に」

「物を運ぶときは、**心**を込めて安全に」

「如何なるときにも感謝の**心**を大切に」

を基本テーマに取組んでおります。

I-2. 経営方針

物流の役割は駅伝でいえば最終ランナー、
地味ではあるが信頼された重要な存在。
当企業グループは信頼に応じて効率的な事業活動の
展開と継続的で質の高い成長を図り、
お客様第一、品質第一を基本に、企業としての
社会的責任を果たしてまいります。
また、短期的な収益にとらわれず、
長期的な視点に立った経営を行い、3PL物流における
質的内容の日本一を目指します。



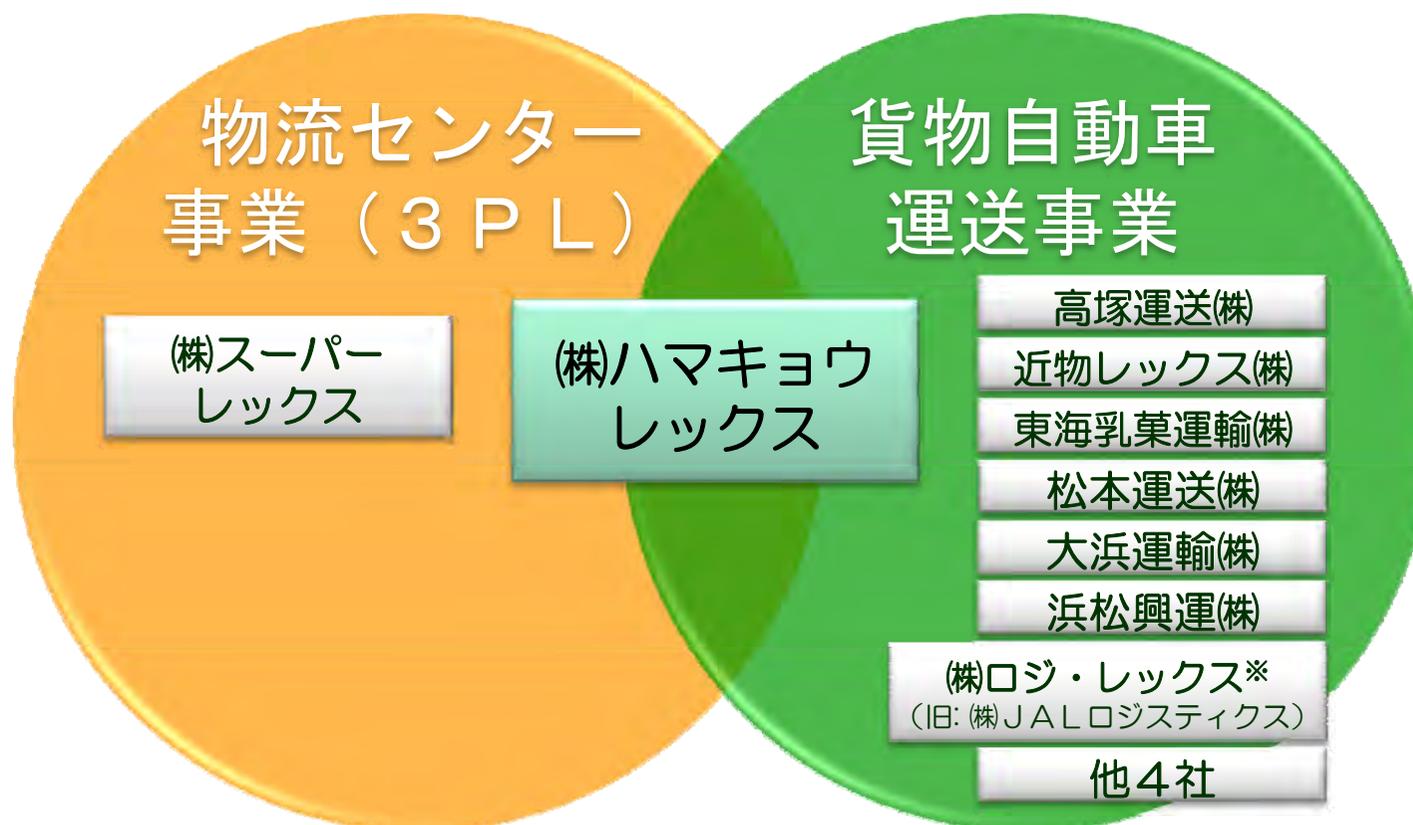
I-3. プロフィール

会社概要(2011年9月30日現在)

- 社 名 株式会社ハマキョウレックス
(HAMAKYOREX CO., LTD.)
- 設 立 昭和46年2月
- 資 本 金 40億4,505万円
- 決 算 期 3月31日
- 従 業 員 数 連結 4,090名、単体 657名
- 発 行 済 株 式 数 8,356,000株
- 株 主 数 3,467名
- 事 業 内 容 物流センター事業(3PL)、貨物自動車運送事業
- 連 結 子 会 社 12社
- 売 上 高
(2011年3月期) 連結 855億65百万円
単体 315億76百万円
- 経 常 利 益
(2011年3月期) 連結 60億45百万円
単体 36億53百万円

I-4. 事業紹介

当社グループは、
物流センター事業（3PL）と貨物自動車運送事業
を中心に展開しております。



II. 2012年3月期 第2四半期概況

Ⅱ-1. 第2四半期累計期間の業績

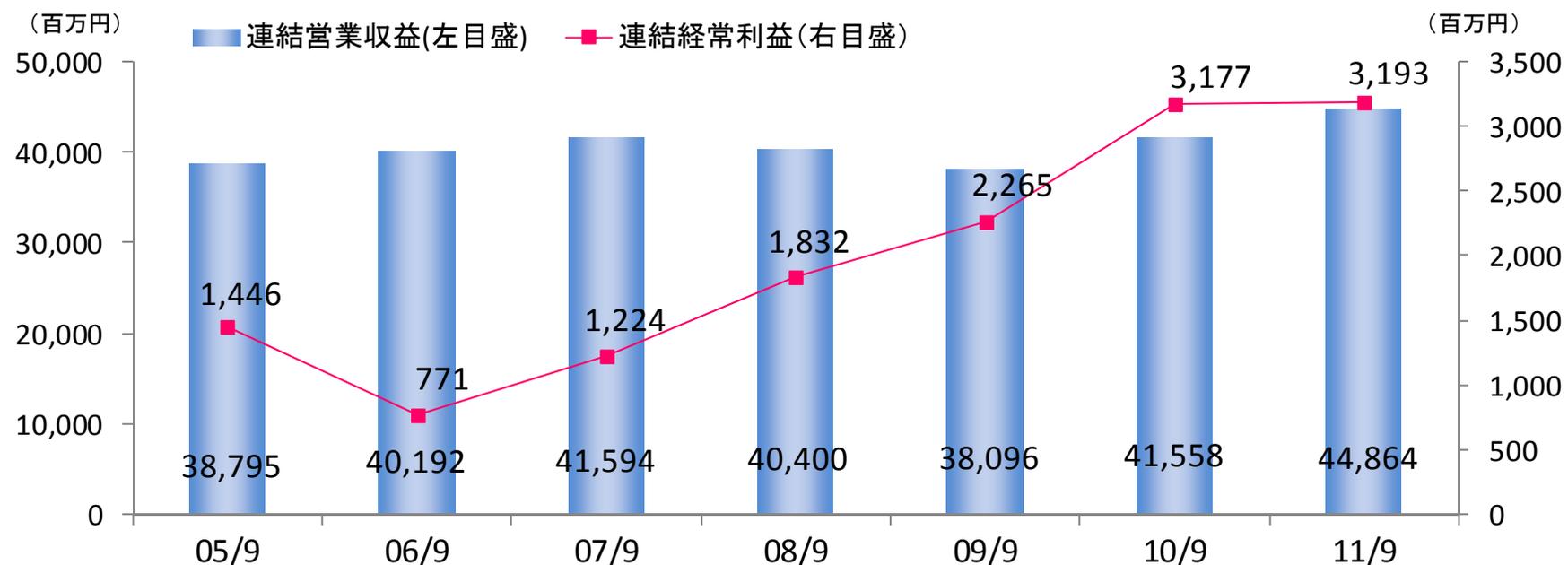
営業収益は、448億64百万円（前年同期比 +8.0%）

経常利益は、31億93百万円（前年同期比 +0.5%）の増収増益

項目	対前期比	対計画比 ※1	対前期比増減要因
営業収益 44,864百万円	+3,306百万円 (+8.0%)	+864百万円 (+2.0%)	・前期取得した連結子会社の増加 ・前期稼働センターの寄与 ・近物レックスの物量増による影響
営業利益 3,179百万円	+223百万円 (+7.5%)	+217百万円 (+7.3%)	・物流センター事業の寄与 ・近物レックスの改善および収益増加による寄与
経常利益 3,193百万円	+16百万円 (+0.5%)	+293百万円 (+10.1%)	・営業利益の増加 ・各種助成金制度の終了による減少
四半期利益 1,642百万円	+144百万円 (+9.6%)	+242百万円 (+17.3%)	・投資有価証券評価損の減少 ・前期過年度資産除去債務計上済みによる増加

※1 計画は、2011/5/12発表数値

Ⅱ-2. 収益構造



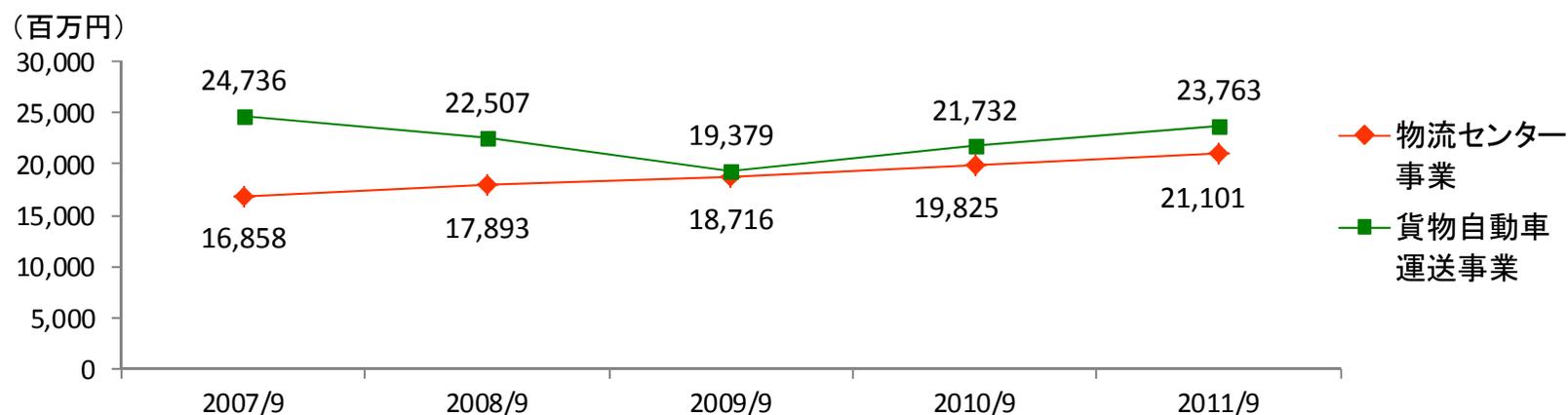
	連結業績	個別業績
営業収益	2期連続 (過去最高)	19期連続 (過去最高)
営業利益	5期連続 (過去最高)	4期連続 (過去最高)
経常利益	5期連続 (過去最高)	14期連続 (過去最高)
四半期純利益	5期連続 (過去最高)	4期連続 (過去最高)

※第2四半期連結決算は2000年9月より開始

Ⅱ-3. セグメント別営業収益の推移

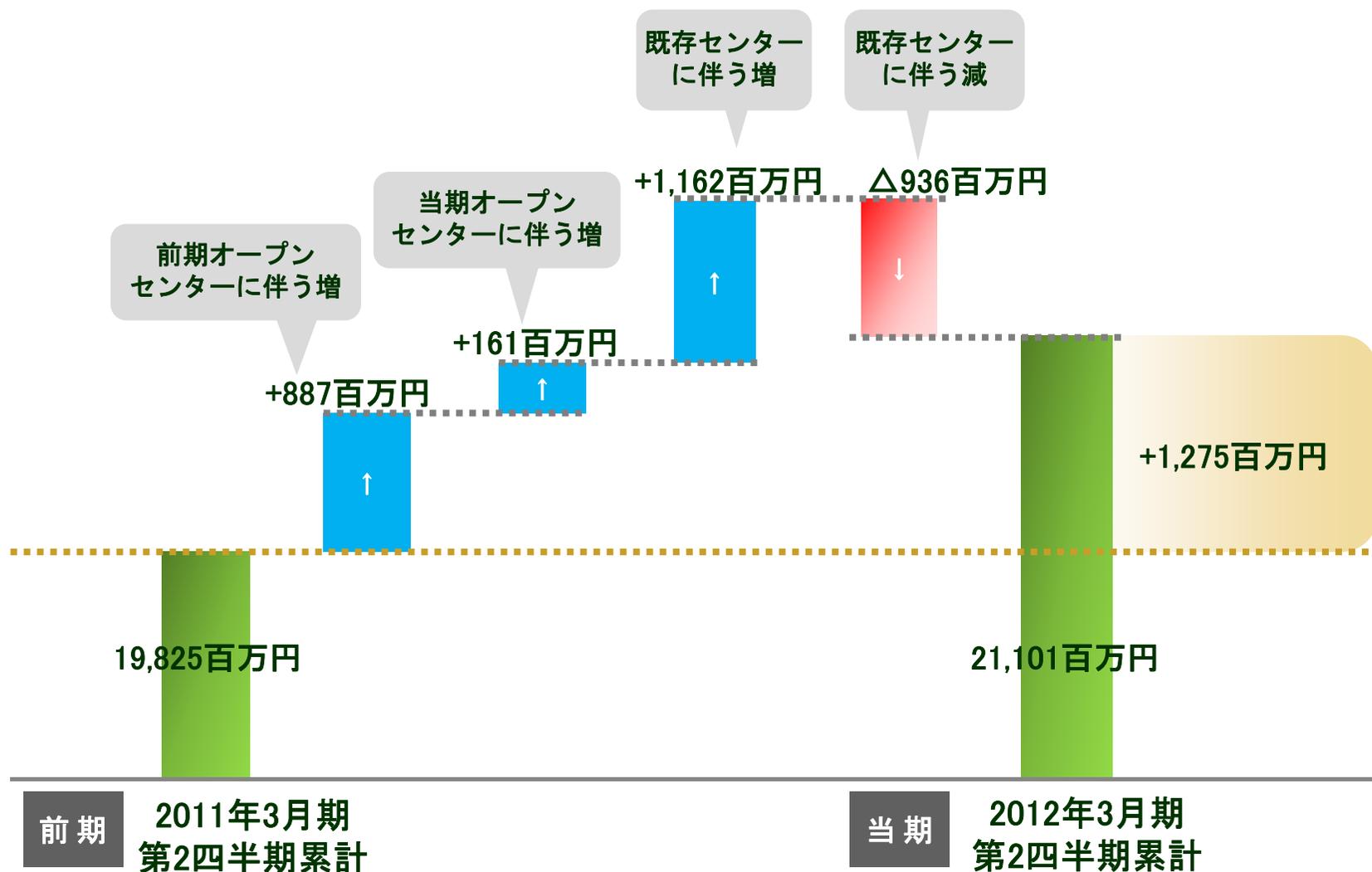
(百万円)

	2007/9 (構成比)	2008/9 (構成比)	2009/9 (構成比)	2010/9 (構成比)	2011/9 (構成比)	増減額 (前期比)
物流センター事業	16,858 (40.5%)	17,893 (44.3%)	18,716 (49.1%)	19,825 (47.7%)	21,101 (47.0%)	+1,275 (+6.4%)
貨物自動車 運送事業	24,736 (59.5%)	22,507 (55.7%)	19,379 (50.9%)	21,732 (52.3%)	23,763 (53.0%)	+2,030 (+9.3%)
計	41,594 (100.0%)	40,400 (100.0%)	38,096 (100.0%)	41,558 (100.0%)	44,864 (100.0%)	+3,306 (+8.0%)



Ⅱ-4. 物流センター事業の概況

営業収益の状況



Ⅱ-5. 物流センター事業の稼働状況

●新規受託及び稼働

取扱品目	① 前期受託 未稼働	② 当期 受託	③ 稼働		④ 当期 未稼働	①+②-③-④ memo
			既存※1	新規※2		
食品	2社	-	1社	1社	-	
繊維・アパレル	1社	3社	1社	2社	1社	当期受託1社
医薬・医療	-	2社	1社	1社	-	
雑貨	2社	2社		2社	2社	当期受託2社
計	5社	7社	3社	6社	3社	

※1 既存の物流センター内に稼働した案件 / ※2 新規拠点にて稼働した案件

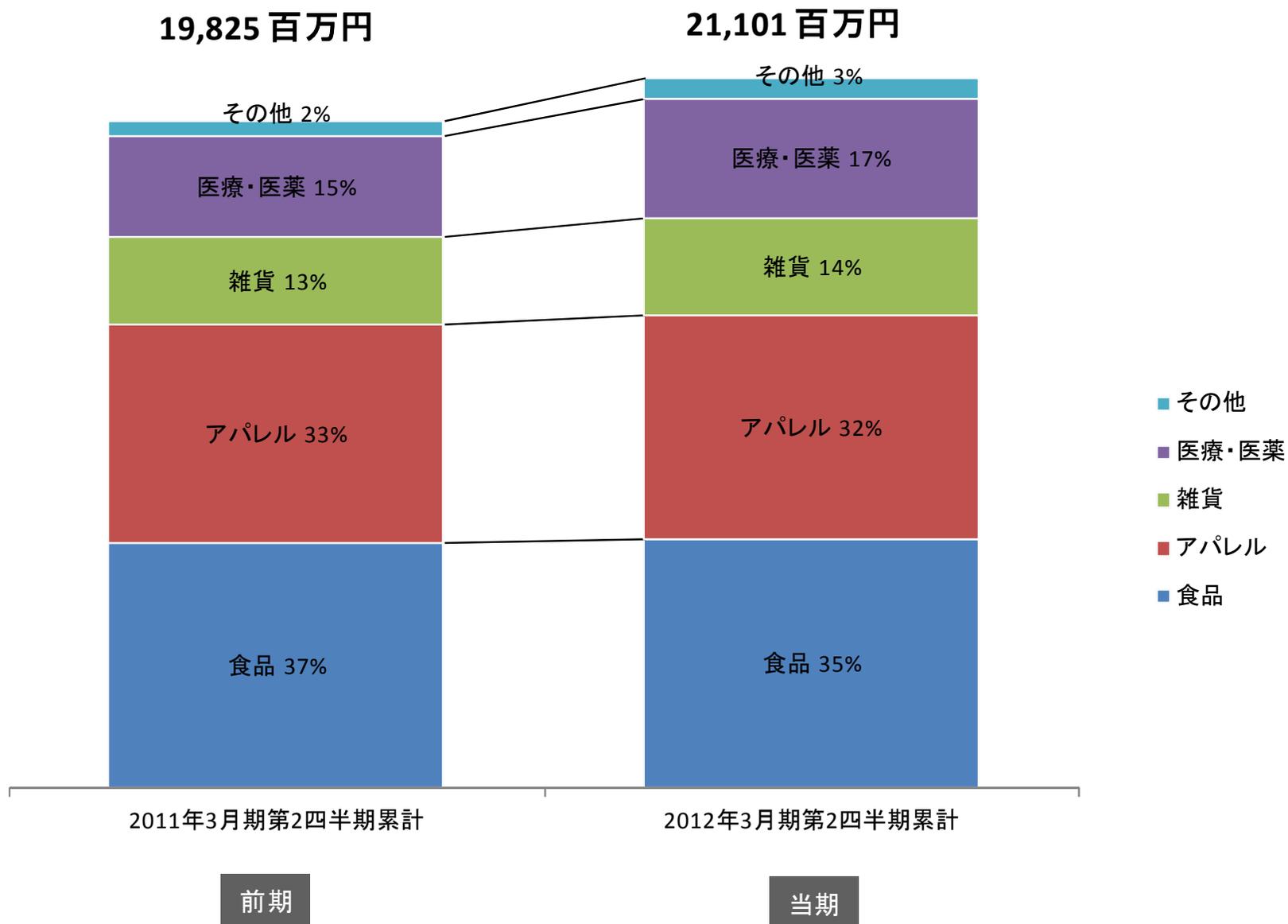


●物流センター数

2011年9月30日現在

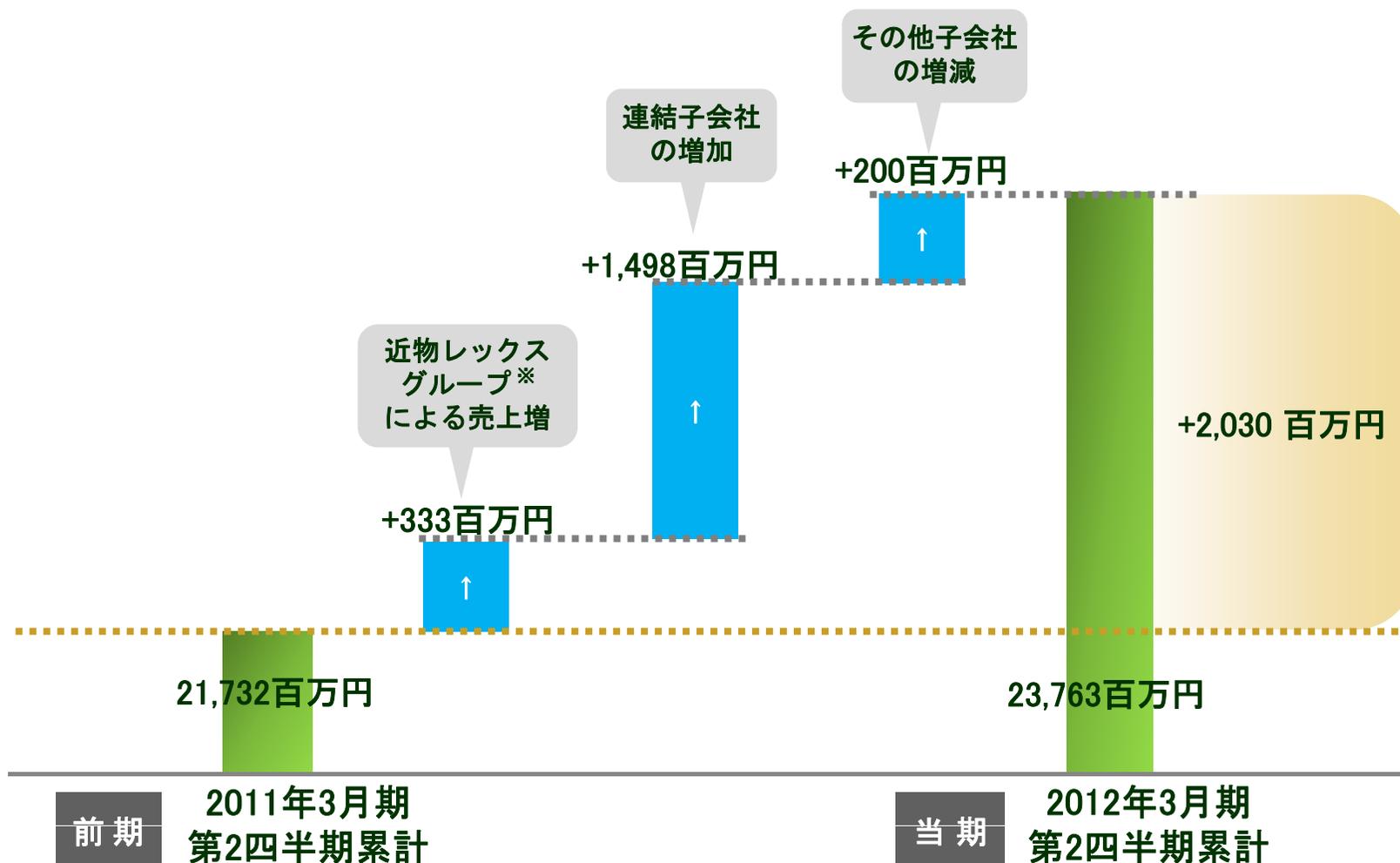
自社センター	21 (217,326㎡)
借用センター	48 (405,683㎡)
計	69 (前年度末比+6)

Ⅱ-6. 物流センター事業の取扱品目別売上高



Ⅱ-7. 貨物自動車運送事業の概況

営業収益の状況



※近物レックスグループとは、近物レックス(株)とその子会社3社です。(都運輸(株)、三重近物通運(株)、茨城県貨物自動車運送(株))

Ⅱ-8. 貨物自動車運送事業の概況 2

1. 近物レックスの収支改善状況

- 全幹線車両(563台)へデジタルタコグラフの導入
(燃費向上による燃料費7百万円/月の抑制)
- 当社と近物レックスでの取引を拡大 (前期比 +181百万円)
- 近物レックスの設備を利用した新たに物流センターを稼働(1件 8月大阪)

2. 輸送能力

- 車両台数 3,195 (自社車両:2,261、リース車両:934)
- 延積載屯数 19,283 (トン)



Ⅲ. 2012年3月期 下期に向けて

Ⅲ-1. 2012年3月期 業績予想

(百万円)

	連結業績		個別業績	
	計画	前期比 (増加率)	計画	前期比 (増加率)
営業収益	90,000	+4,434 (+5.2%)	34,000	+2,423 (+7.7%)
営業利益	6,400	+603 (+10.4%)	3,950	+464 (+13.3%)
経常利益	6,350	+304 (+5.0%)	4,000	+346 (+9.5%)
当期純利益	3,200	+363 (+12.8%)	2,200	+179 (+8.9%)
設備計画	2,000	***	600	***

(平成23年5月12日公表数値)

(百万円)

セグメント別業績予想

		計画	前期比	(増加率)
物流センター事業	営業収益	42,500	+2,588	(+6.5%)
	営業利益	5,080	+454	(+9.8%)
貨物自動車 運送事業	営業収益	47,500	+1,845	(+4.0%)
	営業利益	1,320	+153	(+13.2%)

Ⅲ-2 . 経営指標

	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3 (予想)
1株当たり当期純利益(円) [EPS]	179.04	200.47	286.92	339.57	383.07
自己資本当期純利益率(%) [ROE]	10.2	10.5	13.6	14.1	14.0
1株当たり純資産(円) [BPS]	1,817.69	1,983.94	2,245.82	2,554.02	2,900.88
総資産経常利益率(%) [ROA]	4.2	5.3	6.4	7.3	7.5
営業収益営業利益率(%)	4.0	5.2	6.3	6.8	7.1
営業収益経常利益率(%)	3.7	5.0	6.4	7.1	7.1
1株当たり配当金(円)	28	30	32	36	38

※平成23年10月27日付けで、1株当たり年間配当金予想を36円から38円(+2円)に修正しております。

Ⅲ-3. 下期の取り組み

1. 3つのキーワードを中心とした取り組みの継続

全員参加・日々収支・コミュニケーション

⇒ 既存路線の踏襲・基本の徹底

2. 物流センター事業を中心とした拡大路線

3PLを成長ドライバーとした戦略の継続

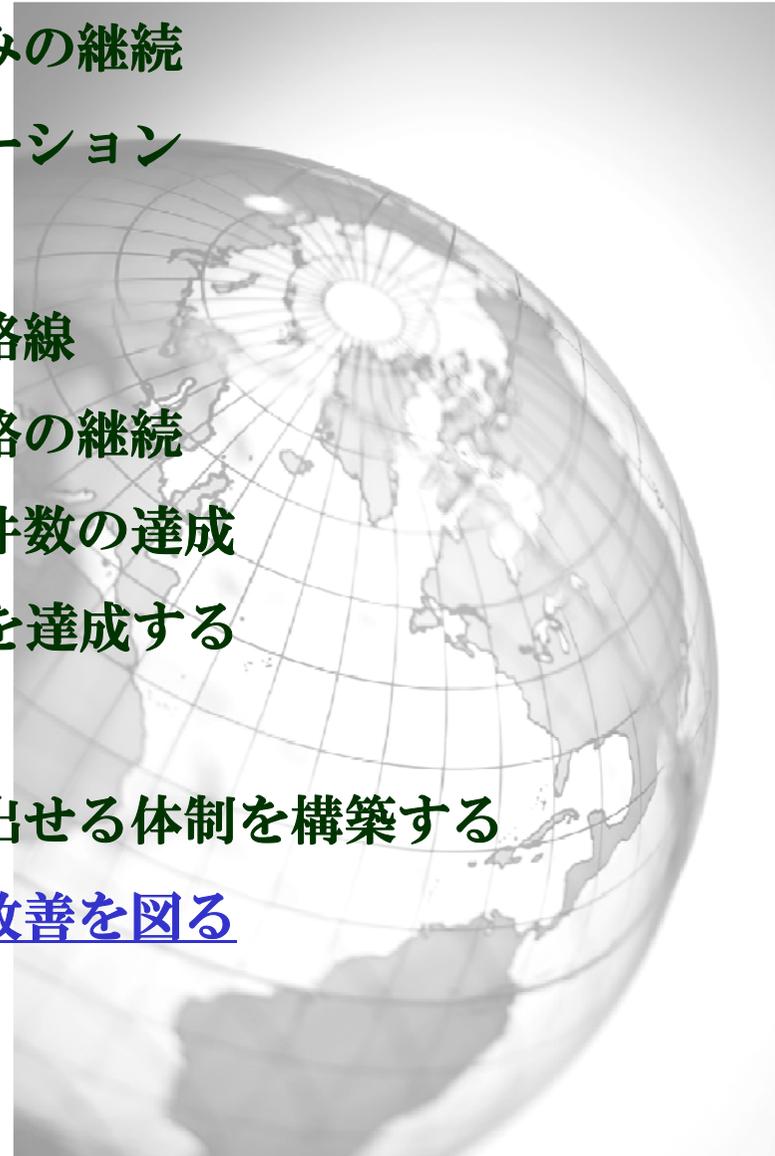
3. 物流センター事業での年間目標受託件数の達成

年間受託目標10社以上の新規受託を達成する

4. 近物レックス(株)の利益安定化

経常利益ベースで安定的に利益の出せる体制を構築する

⇒継続して近物レックス(株)の経営改善を図る

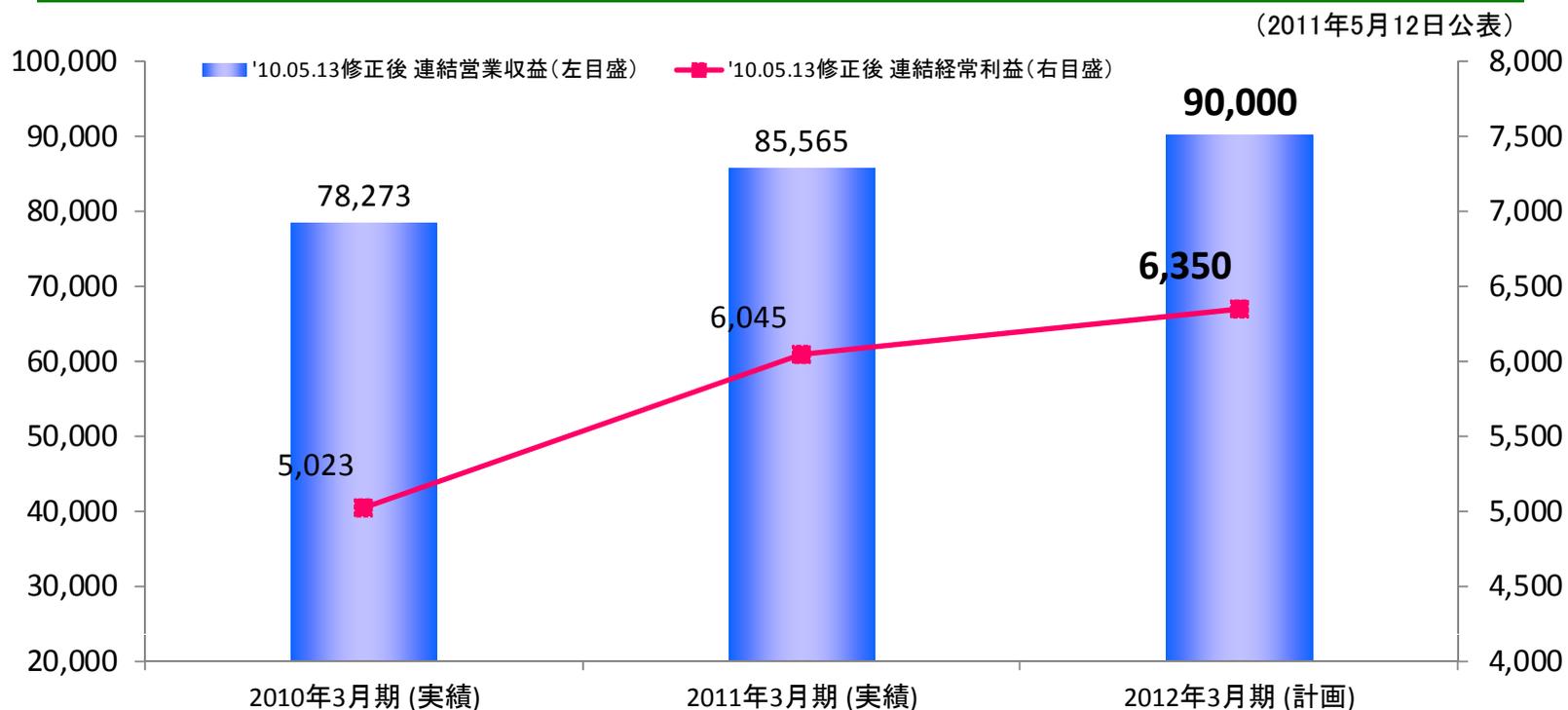


IV. 中期経営計画

IV-1. 中期経営計画

(百万円)

	2010年3月期(実績)		2011年3月期(実績)		2012年3月期(計画)	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
営業収益	78,273	29,666	85,565	31,576	90,000	34,000
経常利益	5,023	3,325	6,045	3,653	6,350	4,000
当期純利益	2,396	1,935	2,836	2,020	3,200	2,200
1株当たり当期純利益	286.92	231.71	339.57	241.83	383.07	263.36
営業収益経常利益率	6.4%	11.2%	7.1%	11.6%	7.1%	11.8%
設備投資計画	16億円	6億円	55億	37億	20億	6億



IV-2. 中期経営計画の取り組み

1. 3PLを軸とする事業展開(拡大路線)

3PLを成長ドライバーとした戦略の継続

2. 3PL事業と近物レックス株の融合

近物レックスの人・設備・配送網を活用した3PL事業を展開

→23年9月現在 6センター

3. 近物レックス株の経営改善

燃料の動向などの対外的な影響に左右されない、每期安定した経常利益ベースでの黒字化をめざす

4. 新規顧客獲得に向けた取り組み

グループ全体での共同営業により、新規顧客獲得を目指す

5. 海外戦略への取り組み

国内の顧客満足度向上のため、海外から国内までの一気通貫型物流を目指す

6. M&A

3PLを行っている会社のM&A案件を中心に前向きな検討を行う



V. 2012年3月期 第2四半期 決算実績

V-1. 四半期会計期間（3ヶ月）の業績

（連結；百万円）

	第1四半期			第2四半期		
	2011/6	前期比 (増減率)	売上比	2011/9	前期比 (増減率)	売上比
営業収益	22,373	+1,857 (+9.1%)	—	22,491	+1,449 (+6.9%)	—
営業利益	1,609	+145 (+9.9%)	7.2%	1,569	+77 (+5.2%)	7.0%
経常利益	1,605	+104 (+6.9%)	7.2%	1,587	△88 (△5.3%)	7.1%
四半期純利益	828	+129 (+18.6%)	3.7%	813	+13 (+1.7%)	3.6%

V-2. セグメント別四半期会計期間(3ヶ月)の業績

(百万円)

		11年3月期第1四半期 (4月～6月)		11年3月期第2四半期 (7月～9月)		11年3月期第2四半期 累計(4月～9月)	
		当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)
物流センター 事業	営業収益	10,613	+777 (+7.9%)	10,488	+498 (+5.0%)	21,101	+1,275 (+6.4%)
	営業利益	1,415	+124 (+9.7%)	1,154	+51 (+4.7%)	2,570	+176 (+7.4%)
貨物自動車 運送事業	営業収益	11,760	+1,079 (+10.1%)	12,002	+951 (+8.6%)	23,763	+2,030 (+9.3%)
	営業利益	193	+19 (+11.6%)	413	+25 (+6.5%)	607	+45 (+8.1%)

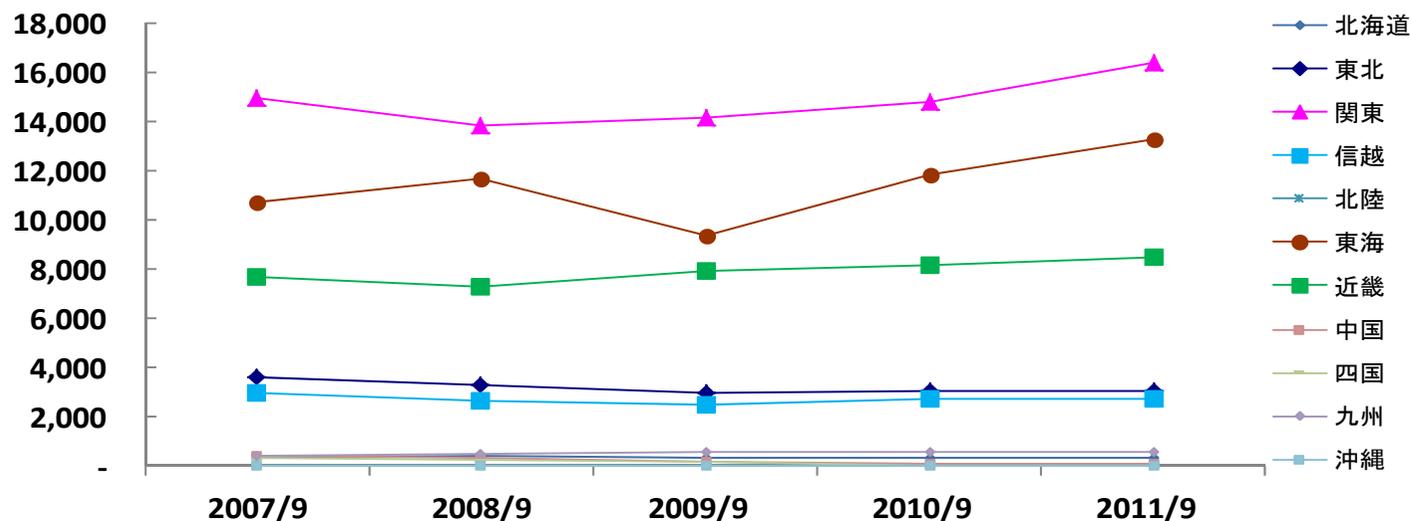
V-3. 地域別連結営業収益の推移

営業収益

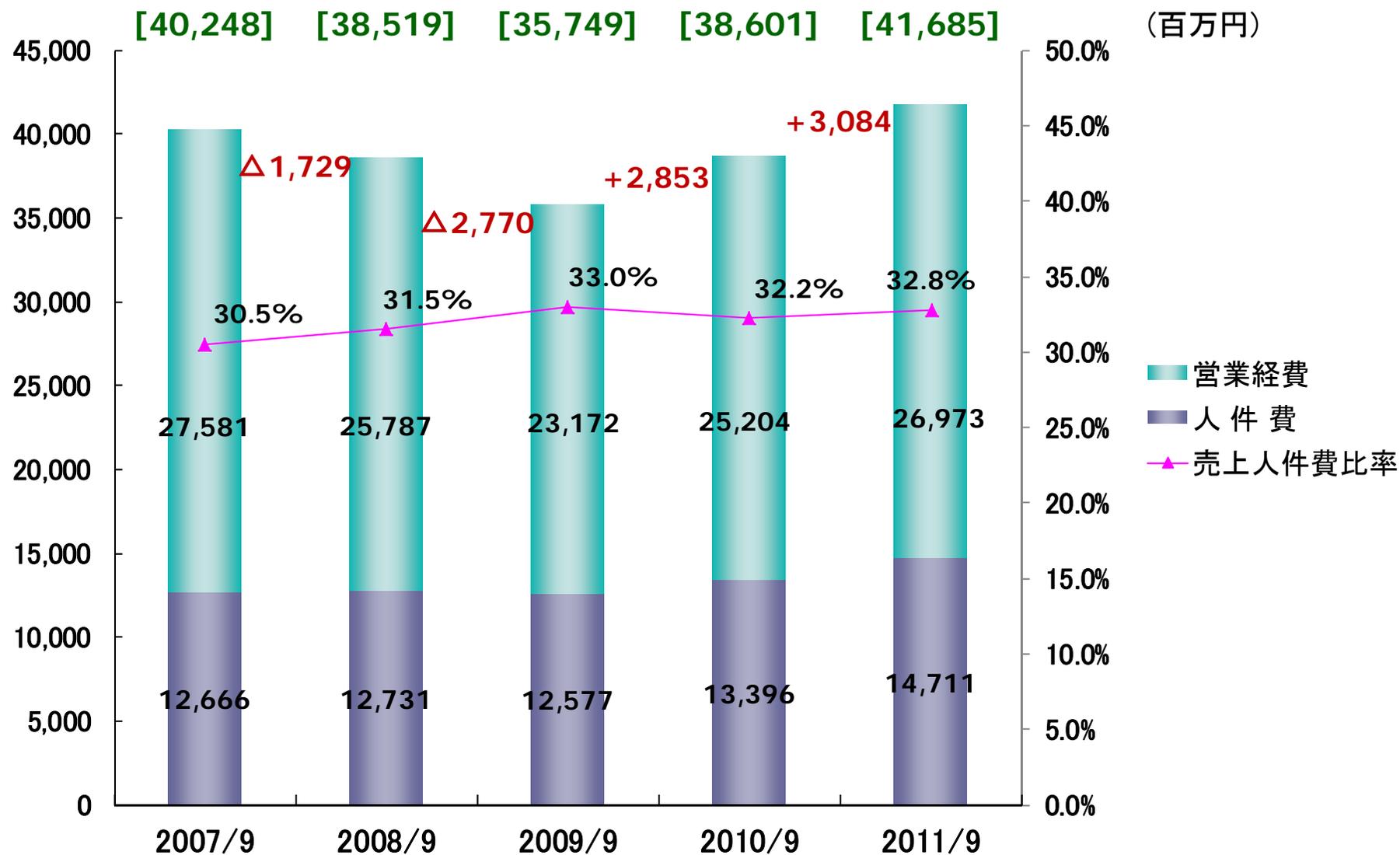
※グループ全体の営業収益

(百万円)

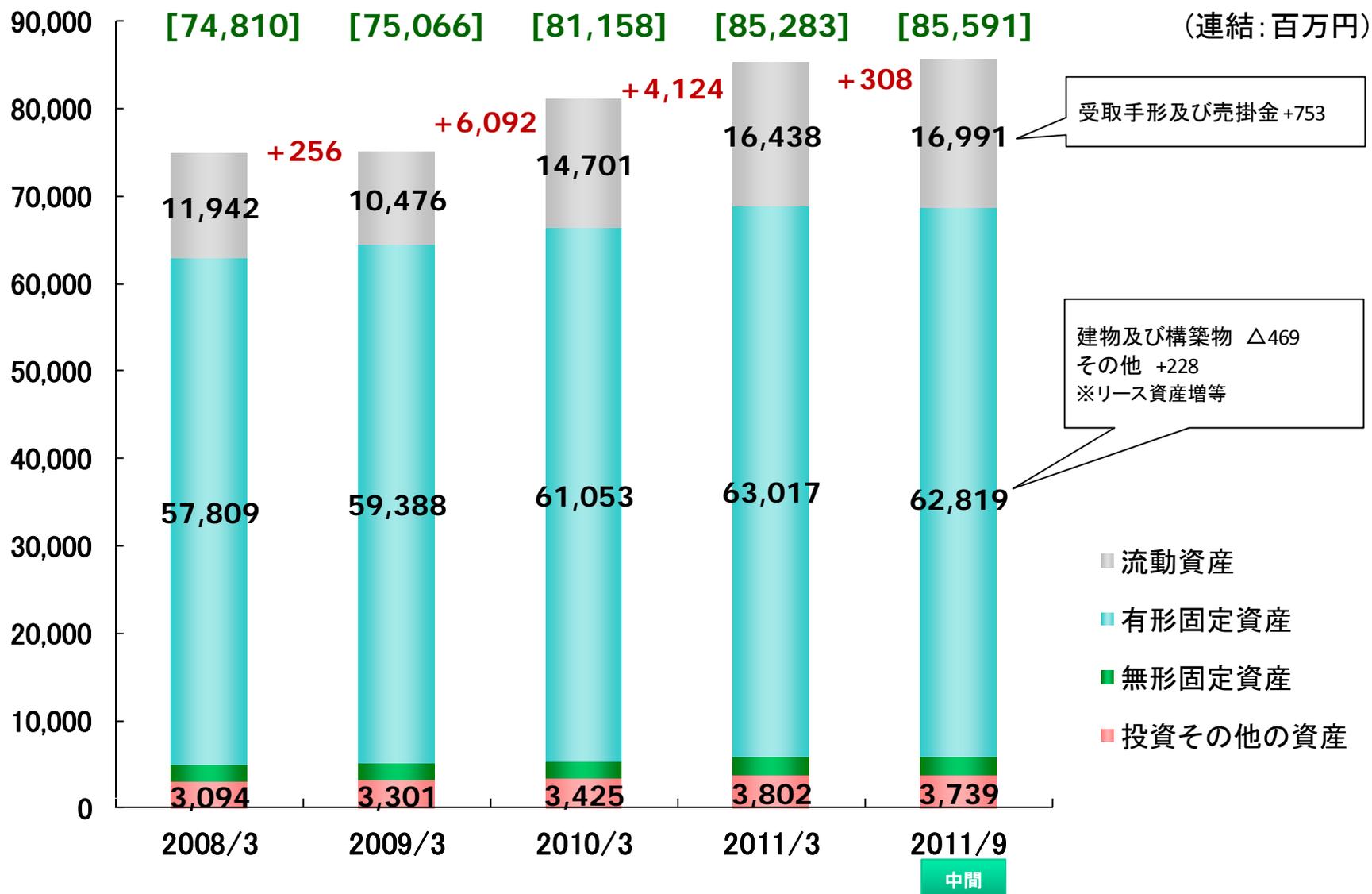
	2007/9	2008/9	2009/9	2010/9	2011/9	(構成比)
北海道	385	400	328	314	319	(0.7%)
東北	3,634	3,312	2,983	3,050	3,058	(6.8%)
関東	14,915	13,822	14,143	14,759	16,349	(36.4%)
信越	2,945	2,681	2,475	2,732	2,717	(6.1%)
北陸	-	-	-	-	-	(0.0%)
東海	10,738	11,691	9,361	11,806	13,259	(29.6%)
近畿	7,702	7,280	7,899	8,201	8,450	(18.8%)
中国	438	375	156	115	130	(0.3%)
四国	387	300	175	-	-	(0.0%)
九州	445	536	571	577	581	(1.3%)
沖縄	-	-	-	-	-	(0.0%)
計	41,594	40,400	38,095	41,559	44,864	(100.0%)



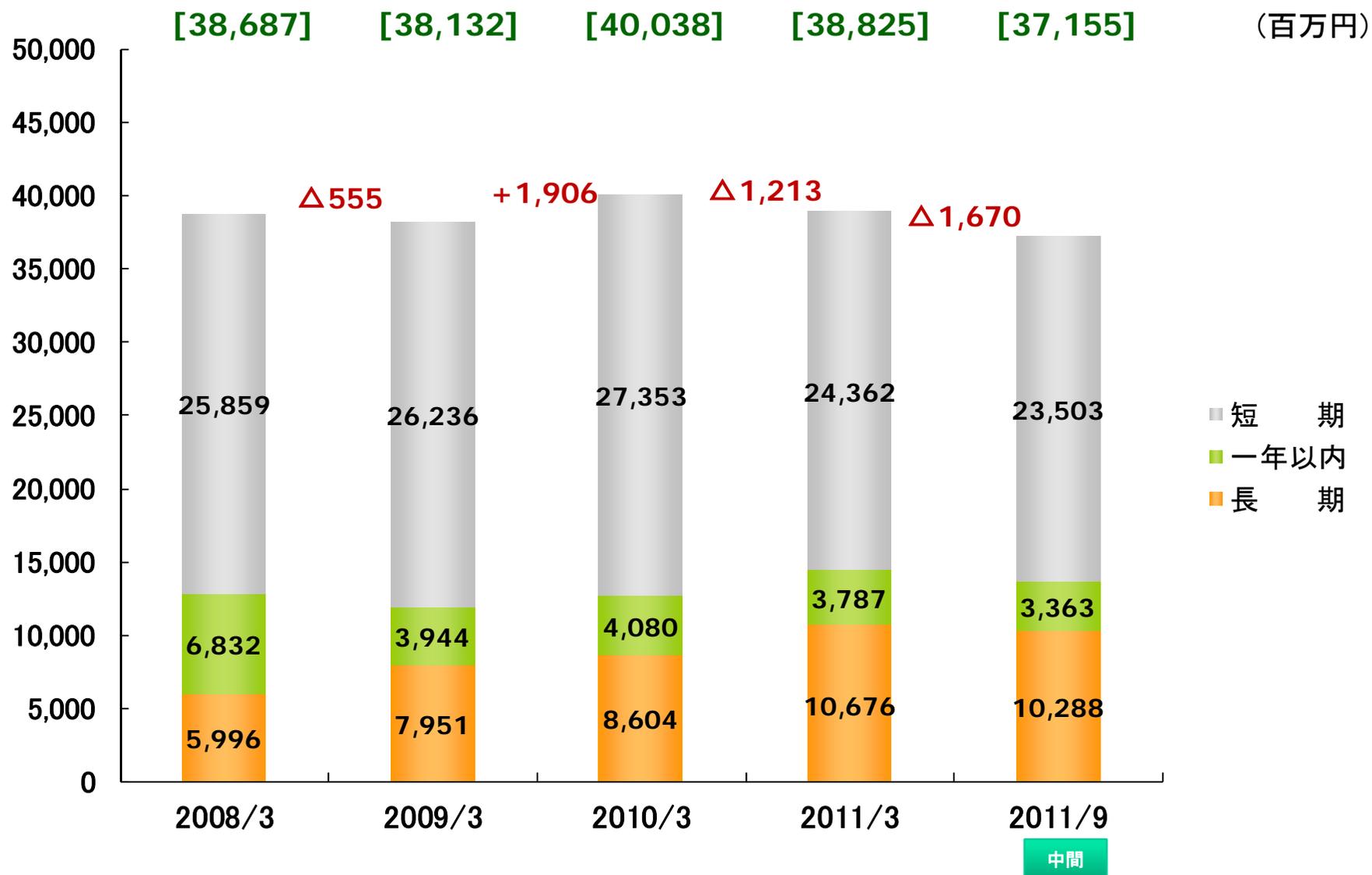
V-4. 経費・人件費



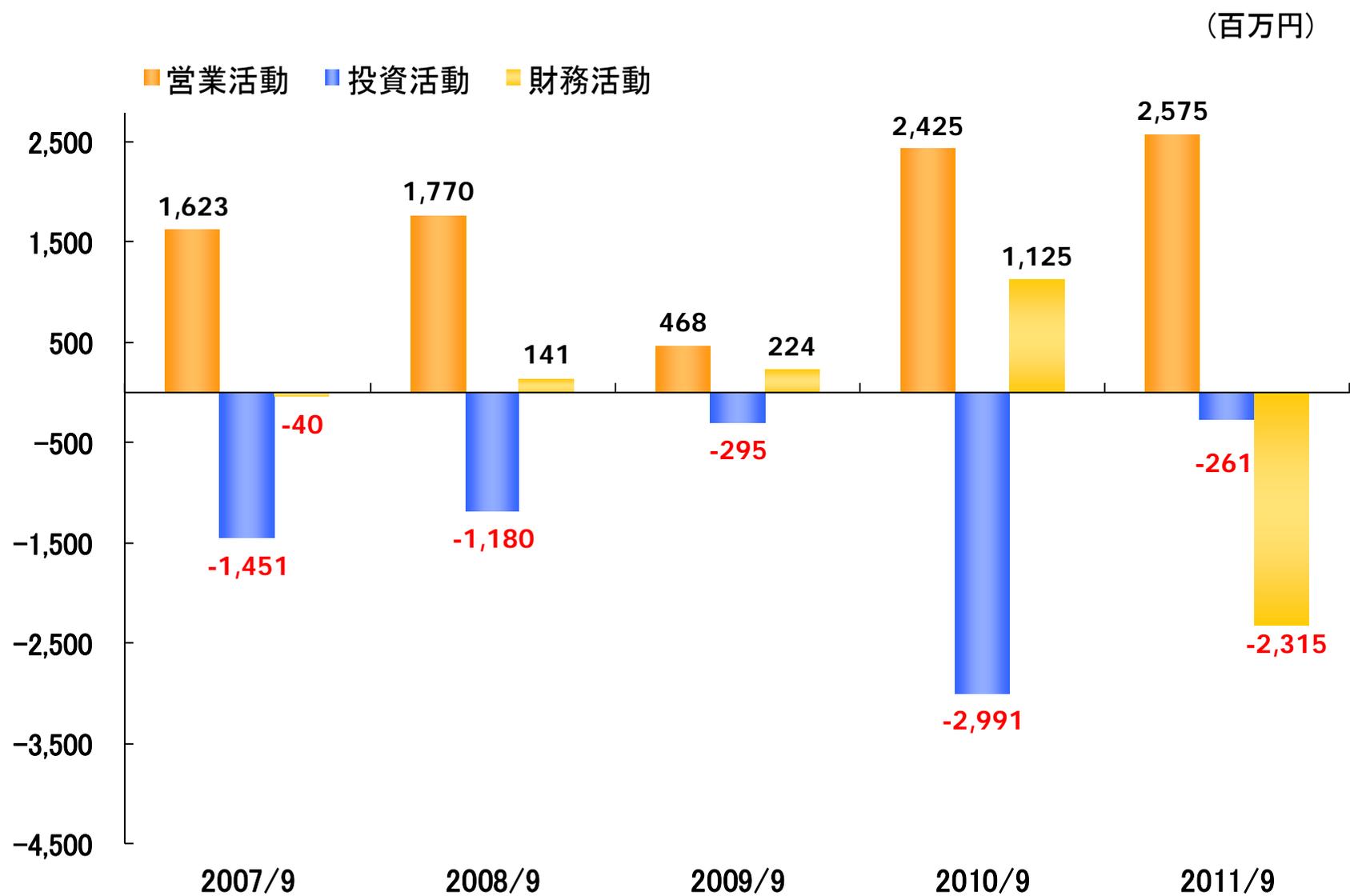
V-5. 貸借対照表<資産>



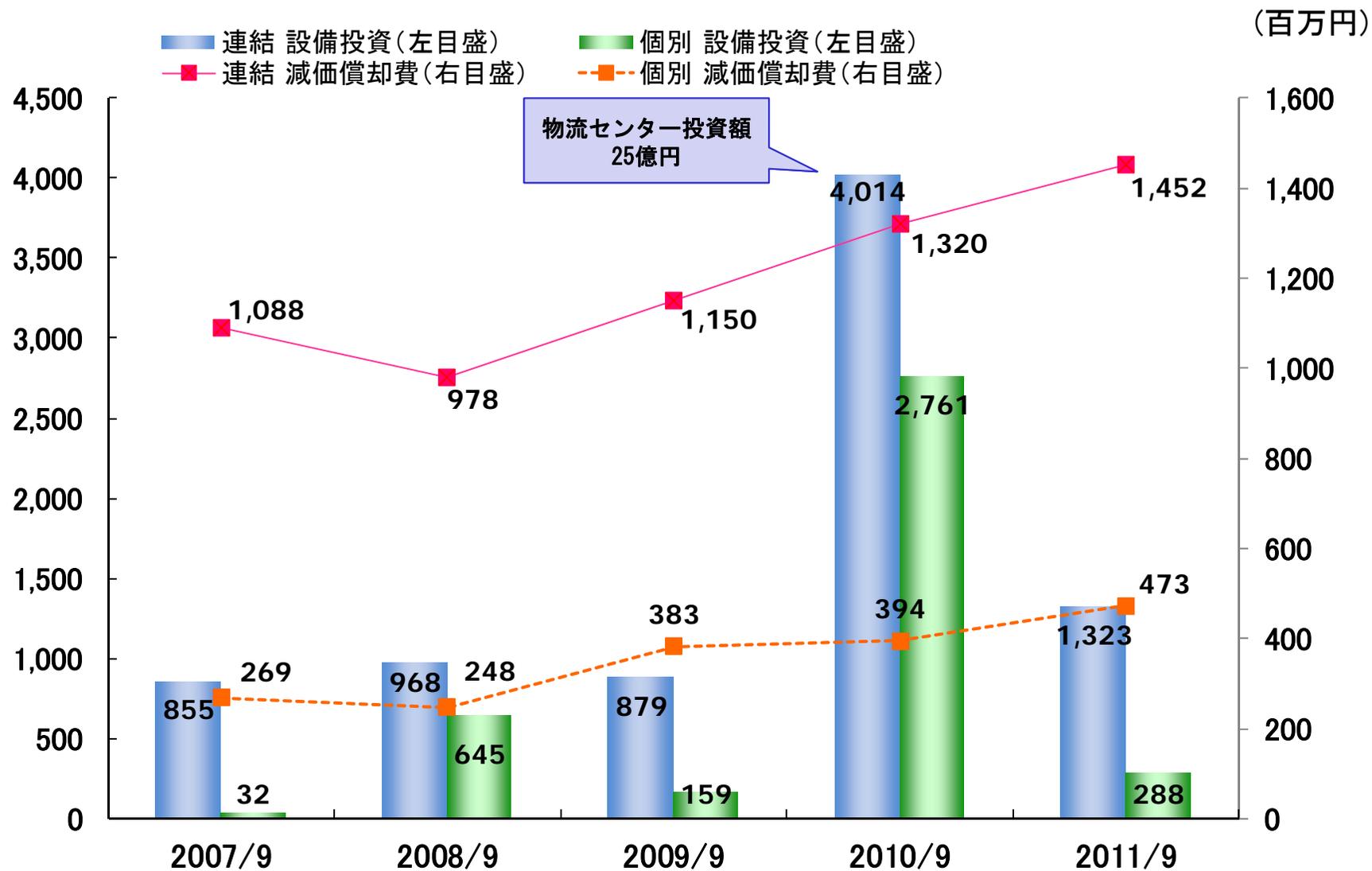
V-7. 有利子負債（借入金）



V-8. キャッシュ・フロー



V-9. 設備投資・減価償却費



VI. 近物レックスの現況と 今後の戦略

VI-1. 近物レックス 第2四半期累計期間の業績

(百万円)

	実績			計画	
	2010/9	2011/9	前期比 (増減率)	2011/9	計画比 (増減率)
営業収益	17,476	17,890	+413 (+2.3%)	17,893	△3 (△0.01%)
営業利益	75	164	+88 (+117.9%)	191	△27 (△14.2%)
経常利益	175	37	△137 (△78.3%)	41	△3 (△8.8%)

VI-2. 近物レックス 上期の状況・取組み

1. 震災エリア復興：各地から東北への営業を集中的に展開、得意地域の囲い込を行う。
(東北到着の売上が前年比8%増加)
 - ・物量増加対応のため、関東から東北向け幹線便を増便(+5便/日)
 - ・東北直行便を新設し、岩手県のリードタイムを1日短縮
 - ・気仙沼は、ホームの修理が完了、現在は通常の集配業務を実施中
2. グループ間取引：4月-9月連続して目標(取引額毎月1億円)の取引額達成。
取引内容の内訳(積合20% 貸切40% 倉庫35% その他5%)
3. 物流請負業務強化：上期4件の業務請負が開始した
 - ・東北地区での物流加工業務、ホームを利用した一時保管業務の開始
 - ・中部地区での常温・チルドセンター運営開始
 - ・関西地区でのデバン及び保管(HMKとの共同運営)
4. 費用管理強化：毎週月曜日に5支社との電話会議を開催し、各支社から収支日計報告を週単位で受け、計画との進捗確認を実施。
計画との乖離が発生している場合に早急に対策を打てる体制を構築。
5. 燃料費抑制：6月度より、全幹線車両にデジタルタコグラフを導入。エンジン回転数、速度管理を徹底(幹線車両燃費 前年比約5%改善)

VI-3. 近物レックス 下期以降の戦略

1. 震災エリア復興
 - ・ 仙台主管支店建替え（東北エリアの要となる拠点整備）
 - ・ 東北の配達強化（ドライバーの拡充）
 - ・ 東北幹線輸送のバランス調整。貸切業務との併用（貸切の社内・グループ内での求荷・求車情報の共有）
2. グループ間取引
 - ・ 積合比率の増加と共同営業提案を継続
 - ・ 物流請負(3PL)も引続きグループ共同営業を行う
3. 営業強化
 - ・ 営業担当者の新規獲得を営業本部が現地にて進捗確認を行う
 - ・ 中部地区営業担当者の強化充実を図る
 - ・ 収益率の低い顧客を対象として運賃改定交渉の実施
 - ・ 新運賃単価への切替を進め収益率向上を図る
4. 費用管理強化
 - ・ 運送に関わる外注費単価見直し（統一的な単価の設定）
 - ・ 空車距離を短縮させるため幹線系統見直し
5. 事故「0」への取組み
 - ・ 交通事故・商品事故・労災事故の排除

VI-4. 近物レックス 業績予想

(百万円)

	2011/3 (実績)	2012/3 (見通)	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
営業収益	35,371	36,072	+701 (+1.9%)	△186 (△0.5%)
営業利益	253	471	+218 (+86.2%)	△44 (△8.6%)
経常利益	221	197	△23 (△10.6%)	△7 (△3.4%)

VII. 参考情報

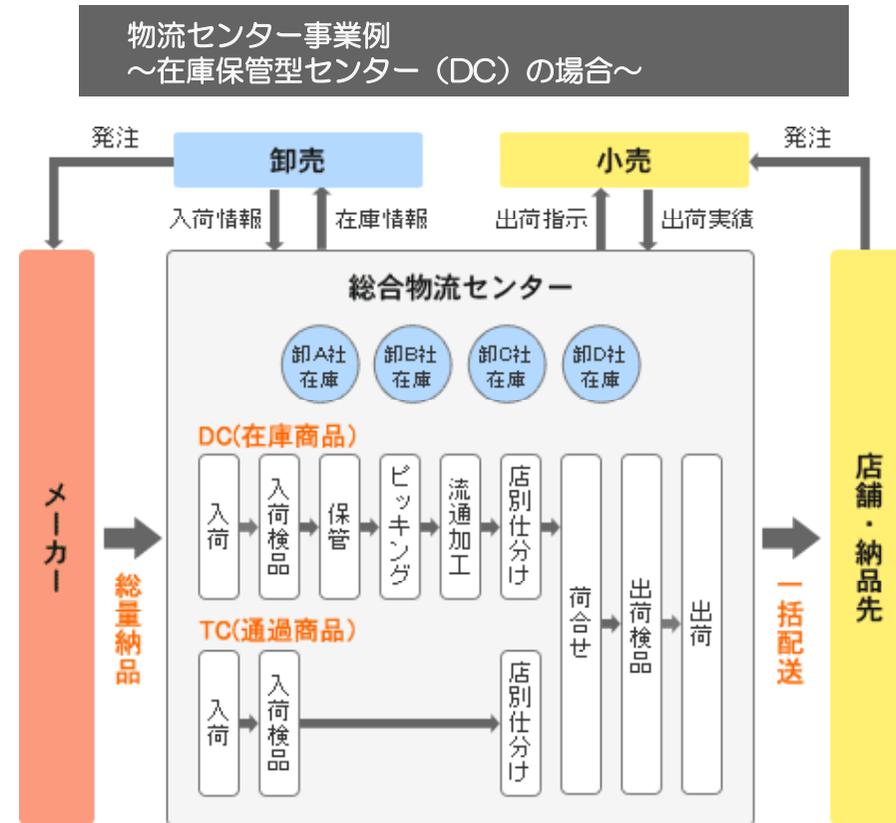
VII-1. 物流センター事業

当社は**3PL(3rd Party Logistics)**をおこなっております。

3PLとは、『荷主様に対して物流改革を提案し包括して物流業務を受託すること』であり、一般的には、『荷主様が物流業務を外部委託(アウトソーシング)すること』を指します。

3PLの主な目的は、「物流コスト削減」「戦略的ロジスティクスの構築による利益追求」です。

お客様にとって最適な物流通をご提案し、「物流を通じてお客様へ利益を還元する」ことが最も重要な役割であると考えております。



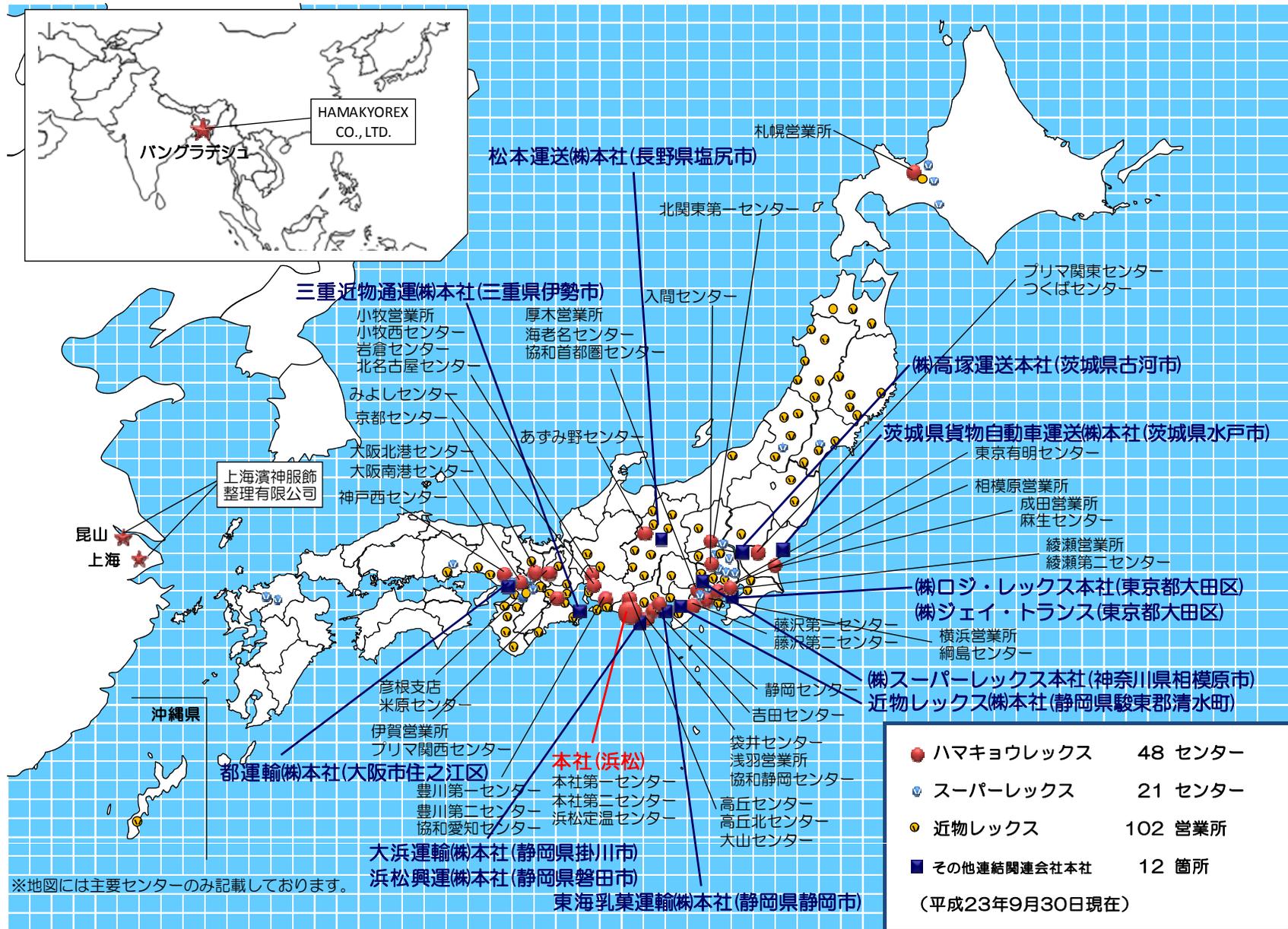
コスト競争力 現場力

当社は、「**コミュニケーション**」を重要視し、社員・パート・アルバイトを含めた「**全員参加**」による現場主導での自社運営を実施。「**日計収支※1**」・「**アコーディオン方式※2**」によるコスト削減を荷主様へ提案し、物流費削減を支援いたします。

※1 日計収支とは、各拠点で、日々決算を行い、その日1日の損益を把握する仕組みです。これにより、その日の問題点を翌日の改善につなげ、日々の無駄なコストを削減していくための当社の仕組みであります。

※2 アコーディオン方式とは、日々の物量(仕事量)にあわせ、最適(最小限)な人員投入を行う仕組みです。これにより日々最適な人員体制を敷くことで、余分なコスト発生を抑えることができます。

VII-3. 拠点紹介



IR関係問合せ先・担当者

- 常務取締役執行役員
管理本部長兼経営企画室長 日比野 稔
TEL 053-444-0054



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。